

熊薬同窓会々報

第 42 号

平成 16 年 6 月 30 日
発行

温故知新 新たな飛躍に期待して

熊薬同窓会・副会長
日永田 義治(昭和44年卒)



平成15年より、田代 昭同窓会会長の補佐を承りました。開局者の分野から係れ、ということだと思いますが、微力ながら務めさせていただきます。

改革の波が押し寄せる中、世の中あらゆる分野で、スリム化が求められています。全員が無駄を省き、効率良く各々の実力を発揮できる体制を整えることが眼目であると思っています。

熊大薬学部には、すでに着々とその備えが進んでいます。

国立大学法人化と、薬学6年制に向けて、大学院医学薬学研究部も発足し、大学卒業者の大半が、大学院進学という熱気が見られることは、頼もしい限りです。全国的に薬学部の新設が計画されていますが、熊大薬学部の底力が展開されることなのでしょう。その慶ばしい吉兆としての、宮本佳博氏(昭和8年卒)の遺志を表わした寄付金による記念館建設も、周到な計画のもと進められています。今年秋には、学生・同窓生のエネルギーを集積する場として、その勇姿を現わす予定です。私達同窓会の、各地から寄せられる報告を見てみますと、絶えることのない薬学への熱い想いが溢れています。

各教室・講座の名称は変わりましたが、創薬の精神、それから始まる薬の研究開発・より効果的な改良と、医薬品としての適正・有効用法へと、薬学者・薬剤師として、大きな責務と期待がかけられています。これには、まさにチームワークとネットワークが必要です。

連綿として受け継がれた情熱と伝統を、未来を切り拓く若手研究者達に託さなければなりません。その実行手段として作られた1-10千人会も、本誌にあるように千人を遥かに超え、熊薬研究助成金(基礎および学術的研究に対する助成)として、有効活用されています。今後とも、同窓生の誇りとして、呼び掛け合いをお願いします。

ところで、時まさに花の春から、生々とした青葉の候へと移り、学内は緑の中に研究棟が、息づいているようです。学内の整備も進み、薬草園も場所を替え、新しい企画のもと拡張化されています。遠路の母校訪問をお待ちします。

末尾になりましたが、2月17日第一講義室で、石崎・上田・國枝三教授の退官記念講演がおこなわれました。永年、研究と教育に携わって来られた熱情が、ひしひしと伝わり、停年を迎える年代の者としても、叱咤された想いでした。「まだまだやるんだ」というお言葉どおり、後進の指導など、種を播き続けていかれることなのでしょう。精気に満ちたお姿に接し、背筋が伸びる思いでした。

熊薬研究助成支援の会 「1 10千人会」について

熊薬研究助成会
会長 田代 昭

「1-10 千人会」は平成7年に発足して以来、熊薬同窓会会員の皆様のご理解とご協力により、すでに千名を超える入会をいただいております。これにより平成8年より毎年3～5名の熊薬若手研修員である助手クラスの先生方に研究助成金の贈呈を行っております。

ご承知のように、国立大学法人の変革の波はいよいよ加速され、大きく変わろうとしています。このような中において、我が母校である熊薬はここ数年来の研究施設の充実・拡大、大学院医学薬学研究部の設置などは正に目を見張るものがあります。このような環境の中で、熊薬が教育・研究面においてすばらしい成果を挙げ、その存在価値をさらに高めてもらうことは、私ども同窓生としても誇り高く思うものであります。我が熊薬同窓会会員一人一人の結集が大きな力となり、さらなる熊薬の充実・発展に少しなりとも寄与できるものと信じております。この意味で「1-10 千人会」の果たす役割は、極めて大きな意義を持っているものと思っております。

「継続は力なり」と申します。すでに千人を超えるご入会をいただいたとはいえ、熊薬研究助成を永く継続させるためにも、現在未入会の会員の方には是非ともこの会の主旨にご賛同いただきご入会をお願い申し上げます。また、すでに入会後完納された方にも、誠に恐縮でございますが再入会についてご配慮いただきたくお願い申し上げます。



あなたの足跡を母校に残しませんか!
同窓生一人一人の団結が力です!
あなたの善意を母校に刻みましょう!
母校の発展はあなたの発展!

熊薬同窓会からのお願い

今回、1 10千人会の完納者の皆様にも、失礼ながら振込用紙を同封させて頂きました。勝手に恐縮ながら、再度の温かいお志を祈念申し上げます。

本会報の発行を含め熊薬同窓会の活動にかかる費用は、会員の皆様方の会費および寄付金よりまかなわれております。諸経費の値上がりや会員数の増大(本会報は会員全員に郵送されております)に伴い、予算が余裕のないものになりつつあります。現在、会費納入率は全会員数の約3割です。何卒、年2,000円の会費の納入による御協力をお願いいたします。また、本会報には今年度の会費用と1 10千人会用の2種類の振込用紙が同封されております。振込口座が異なりますので、お間違いのないようお願いいたします。なお、行き違いにご送金された方は何卒ご容赦下さい。

本会報は会員名簿記載の住所に郵送されております。お手もとに送られてこない方を御存知でしたら、同窓会事務局への住所変更の連絡を勧めさせていただけると幸いです。

平成16年度熊本大学薬学部同窓会総会および懇親会のご案内

平成16年度熊薬同窓会総会が佐賀県支部のお世話で開催されます。会員の皆様の御参加をお待ちしております。

なお、準備の都合上、ご参加ご希望の方は、9月11日までに熊薬同窓会事務局へ(1)お名前、(2)卒業年度、(3)連絡先(mail, Tel, Fax, 住所のいずれか1つ以上)をご連絡いただきますようお願い申し上げます。

万が一、変更等が生じた場合のご連絡は、参加予約いただきました方の方に限らせていただきますので、予めご了承ください。

日時 平成16年9月19日(日)20:00より
場所 ホテルニューオータニ佐賀、電話0952-23-1111
会費 5,000円 当日徴収
申込締切 9月11日(若干名 当日参加も受け付けます)
申込先

1) 862-0973 熊本市大江本町5-1 熊本大学薬学部同窓会
2) 電話およびFax: 096-371-4766
3) E-mail: kumayaku@www.pharm.kumamoto-u.ac.jp



目次

温故知新 - 新たな飛躍に期待して	1	博士号取得者	17
大江総合研究棟紹介	2	庶務報告	17
薬学部3億円の贈物: 宮本記念館の建設	4	訃報	18
退官にあたって	5	平成15年度卒業(修了)者就職(進学)先一覧	18
支部だより	9	寄付者一覧	19
佐賀支部・関東支部(東京バッチン会)		1-10千人会会員一覧	19
福岡支部・鹿児島支部		寄付者芳名録	22
卒業生だより	11	表彰者	22
熊薬研究助成金受領者研究報告書	11	編集後記	22
日本結晶学会平成15年度年会を開催して	15	連絡先	22
学会・シンポジウム開催のお知らせ	15	熊薬研究助成会規則・熊本大学薬学部同窓会会則	23
薬学展開催のお知らせ	16	「1-10千人会」について	24
第22回シクロデキストリンシンポジウム	16	熊薬同窓会からのお願い	24
学内だより	16	平成16年度総会および懇親会のご案内	24